

高松市

「香川県に行つて」
国分寺西小 6年 前原正義

ぼくは、下野市小学生親善交流団の団員として交流事業に参加して色々な事を学ぶことができました。

高松市の友人

一番心に残つたのは高松市の南部・北部小学校2校の小学生との交流です。1日目のレクレーション交流の時、はじめは自分から話しかけることができませんでしたが、南部・北部小学生の方から話しかけてくれて友達になることができました。3日目には、一緒に地引網体験をし、僕にとつて地引網は初めてだったので、とても面白かったです。また、その後の海水浴も久しぶりだったので楽しかったです。

おいしかった讃岐うどん

ほかの思い出として、まずは讃岐うどんです。ぼくは行く前から食べてみたいと思って来ました。食べてみて普通のうどんとは違つてかみごたえがあつてすごくおいしかったです。金毘羅宮は階段がとて辛かつたけれど本宮に到着した時のうれしさと、その気持ち良さは格別でした。電車で渡つた瀬戸大橋から見た瀬戸内海の景色は絶景でした。善通寺もすごかつたです。お地蔵さんが何百体とあつて、みんな違う顔をしていました。栗林公園は松の木が見事で、紫雲山が大きくて特別名勝と高松文化道に指定されて



いることだけあると思ひました。また高松市の国分寺跡資料館見学では1/10の復元模型を見ることができました。形が下野市の国分寺と似ているなど感じました。屋島水族館ではイルカのショーを見ることができました。また他の生き物も可愛かつたです。また、屋島での瓦投げも輪っかに瓦を投げて通すことができるというので、お願い事がかなうというので、ぼくは投げて通すことが出来たのでうれしかつたです。最終日のお別れ会では、地引網体験で捕つた魚を讃岐国分寺交流協会の方々が調理してくれた料理が出ました。自分たちが捕つた魚はとてもおいしかつたです。最後仲良くなれた高松市の小学生と別れるのは悲しかつたです。交流事業に団員として参加して本当に良かつたです。

高松市小学生親善交流事業(受入事業)

8月23日(火)に高松市讃岐国分寺小学生交流団23名が下野市を訪問しました。ゆうゆう館で行われた歓迎会では、下野市内交流協会の女性役員の方々により、かんぴょうをはじめ地元で採れた野菜を使った五目ちらしとかんぴょうの卵とじ汁、サラダが振る舞われました。



また、その後の高松市小学生訪問団と下野市小学生交流団員との小学生交流会では、下野薬師寺ボラントエアの会の協力により「下野かるた取り」を行い交流を深めました。その後、風土記の丘資料館や下野薬師寺歴史館、道の駅などを見学しました。

●問い合わせ先

生活安全課 ☎(40)5555